

参加費無料、事前登録制です。
詳しくはホームページ(<http://www.ntsels.go.jp/>)をご覧ください。

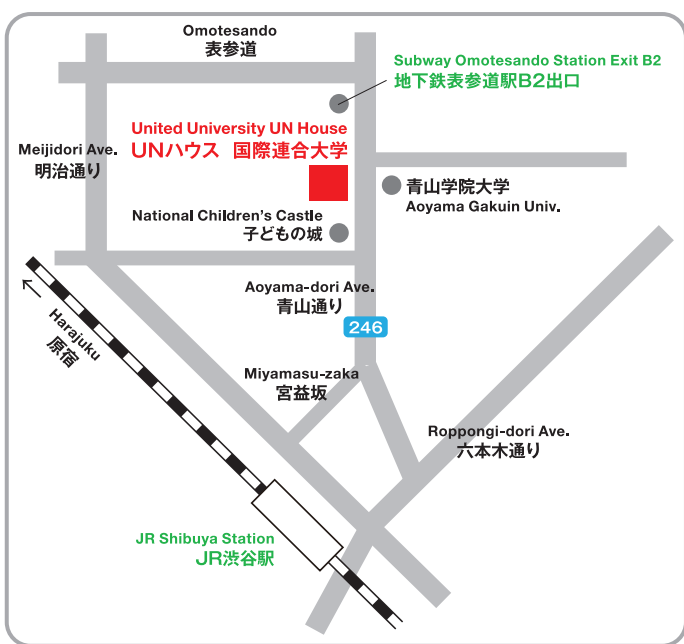
会場 国際連合大学 ウ・タント国際会議場

2012.5.22(Tue) 10:00~17:00

【日本の鉄道・自動車技術の国際標準化に向けて】

交通安全環境研究所講演会

2012



会場

国際連合大学 ウ・タント国際会議場
東京都渋谷区神宮前5丁目53-70

- 東京メトロ(銀座線・半蔵門線・千代田線)
表参道駅 B2出口 徒歩5分
- 渋谷駅 徒歩8分

【問い合わせ】

独立行政法人
交通安全環境研究所企画室
〒182-0012 東京都調布市深大寺東町7-42-27



■ TEL : 0422-41-3207 ■ FAX : 0422-41-3233
■ mail : kouen12@ntsels.go.jp
■ URL : <http://www.ntsels.go.jp/>

本件についてのお問い合わせは、上記あてにお願いいたします。

平成24年5月

独立行政法人 交通安全環境研究所
理事長 飯村 修

謹白

皆様方にはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
交通安全環境研究所では、多くの皆様に私どもの活動についてご理解をいただくため、講演会を開催しております。平成24年度講演会は、「日本の鉄道・自動車技術の国際標準化に向けて」をテーマに開催することといたしました。
我が国の鉄道・自動車分野には多くの優れた技術がありますが、そのような優れた技術の海外展開は国の重点施策の一つとなっています。このため、日本が技術的優位性を有する分野について戦略的に国際標準化し、認証を行なうことにより、国際競争力の強化を図ることが重要な取組みとなっています。
本講演会では、鉄道・自動車分野における国際標準化および認証等に関する最新の動向と当研究所の役割をご紹介させていただきますと考えております。ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、万障お繰り合わせの上で来場賜り、是非、忌憚のないご意見をいただきたくご案内申し上げます。また、お手数ながら、関係の方々にもご案内いただければ幸いです。

交通安全環境研究所講演会のご案内

2012 交通安全環境研究所講演会

【日本の鉄道・自動車技術の国際標準化に向けて】

鉄道の国際展開はなぜ必要か？ — 鉄道技術の国際標準化・国際規格認証への取組み —

10:00～10:10	開会の挨拶 交通安全環境研究所 理事長 飯村 修
10:10～10:30	【基調講演】 鉄道技術の海外展開戦略 国土交通省鉄道局技術審議官 米澤 朗
10:30～10:50	【招待講演】 鉄道技術の国際標準化に関する最新動向 公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道国際規格センター長 田中 裕
10:50～11:10	【招待講演】 鉄道事業者から見た鉄道技術の国際標準化 京阪電気鉄道株式会社 鉄道企画部 部長 岡 秀敏
11:10～11:40	国際展開に必要な国際規格認証と交通研の果たす役割 鉄道認証室長 田代 維史
11:45～12:15	【総合質疑】

自動車基準・認証の更なる国際調和と自動車技術の国際標準化に向けて — 日本の役割と国際市場の戦略的環境整備 —

13:30～13:55	【招待講演】 自動車基準・認証の更なる国際調和の戦略的推進 国土交通省自動車局自動車基準協定対策官 斧田 孝夫
13:55～14:20	【招待講演】 官民連携による基準・認証国際調和活動の推進 自動車基準認証国際化研究センター研究部長 上野 潮
14:20～14:45	【招待講演】 変化する世界の市場と企業活動の実際、戦略的国際基準・標準化への取り組み 一般社団法人日本自動車工業会電動車両国際標準検討会副主査 原田 淳
14:45～15:00	休 憩
15:00～15:20	交通研における基準・認証国際調和の技術支援活動の役割と今後の展望 自動車基準認証国際調和技術支援室長 成澤 和幸
15:20～15:40	【事例紹介】 基準認証におけるアカデミズムとビジネス ～ドイツ・カールスルーエ 報告～ 自動車安全研究領域主席研究員 塚田 由紀
15:40～16:00	【事例紹介】 世界統一乗用車排出ガス試験法(WLTP gtr)の検討状況について 環境研究領域副領域長 石井 素
16:00～16:20	【事例紹介】 車両認証にかかる新たな国際相互承認枠組みの構築に向けて 自動車審査部前任自動車審査官 家邊 健吾
16:25～16:55	【総合質疑】
16:55～17:00	閉会の挨拶 交通安全環境研究所 理事 水間 毅

【お願い】 講演中は携帯電話の電源をお切りになるかマナーモードに設定の上、会場内での通話はお控え下さい。
会場のエアコンを弱めに設定いたします。節電へのご理解とご協力をお願いいたします。

※講演内容・講演者は変更になる場合がございます。